

令和8～17年度 児島地区 家庭ごみ収集運搬業務委託経費設計書

(収集区域 : 琴浦地区・児島地区)

【燃やせるごみ】

水島清掃工場へ搬送、ただし、毎年10月から11月の水島清掃工場定期修繕期間は、倉敷西部クリーンセンターへ搬送とする。

資源循環推進課

令和8～17年度 児島地区（東部） 家庭ごみ収集運搬業務委託数値算定表

収集区域：琴浦地区・児島地区

燃やせるごみ搬送先：水島清掃工場 10ヵ月分×10年

◆児島地区全体 家庭ごみ排出量年度別推移表（ステーション収集） 単位：t

ごみ種	令和元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	8年度予測量
燃やせるごみ	12,965	12,650	12,603	12,278	11,695	11,399
		▲2.43%	▲0.38%	▲2.58%	▲4.74%	▲2.53%
埋立ごみ	239	237	242	221	178	166
		▲1.08%	2.35%	▲8.84%	▲19.50%	▲6.77%
紙・布類	148	183	190	189	186	198
		23.34%	3.79%	▲0.43%	▲1.50%	6.30%
金属類	139	163	156	141	135	137
		17.33%	▲4.84%	▲9.34%	▲4.33%	▲0.29%
スプレー缶	—	—	—	—	8.28	11
					R5年度実績9か月	
びん類・蛍光灯	316	313	297	279	270	260
		▲0.92%	▲5.13%	▲5.81%	▲3.20%	▲3.77%
ペットボトル	52	54	55	55	54	55
		4.09%	0.61%	0.72%	▲1.29%	1.03%
小計	895	950	939	885	824	816
合計	13,860	13,600	13,542	13,163	12,519	12,215

鹿乾電池は埋立に含む

◆ 児島地区（東部） 委託基準量(年)

令和元年度から令和5年度排出量の平均減少率から令和8年度の排出予測量を算出する。

委託範囲：児島地区東部（55%） 収集区域55%

燃やせるごみ	11,399	t/年 ×	55% =	6,270	t/年 ÷	6,270	t/年
埋立ごみ	166	t/年 ×	55% =	91	t/年 ÷	91	t/年
紙・布類	198	t/年 ×	55% =	109	t/年 ÷	109	t/年
金属類	126	t/年 ×	55% =	69	t/年 ÷	69	t/年
スプレー缶	11	t/年 ×	55% =	6	t/年 ÷	6	t/年
びん類・蛍光灯	260	t/年 ×	55% =	143	t/年 ÷	143	t/年
ペットボトル	55	t/年 ×	55% =	30	t/年 ÷	30	t/年
						6,719	t/年

◆ 児島地区（東部） 委託基準量(年)

ごみ種	委託基準量 (委託地区 排出予測量)
燃やせるごみ	6,270
埋立ごみ	91
紙・布類	109
金属類	69
スプレー缶	6
びん類・蛍光灯	143
ペットボトル	30
計	6,719

◆ 児島地区 東部委託業務におけるごみ種別処理(搬送)先

- 燃やせるごみ 水島清掃工場
- 埋立ごみ 倉敷西部クリーンセンター
- 紙・布類 児島織協
- 金属類 児島織協, (株)水島金属
- びん類・蛍光灯、スプレー缶 資源選別所、田中商会
- ペットボトル 倉敷リサイクルセンター((協)倉敷環境システム)

◆ 児島地区 1トリップあたりの基礎数値

ごみ種	収集時間/h	積載量/kg	走行距離/Km	使用車種	乗車人員/台
	①	②	③	④	⑤
燃やせるごみ	1.80	1,995	35.79	パッカー	2
埋立ごみ	3.36	1,014	59.50	パッカー	2
紙・布類	1.09	245	18.96	パッカー	2
金属類	2.17	725	34.77	パッカー	2
スプレー缶	4.46	480	34.77	リフト付ダンプ車	2
びん類・蛍光灯	2.23	1,287	37.04	リフトトラック	3
ペットボトル	3.00	500	29.00	パッカー	2

スプレー缶含む
金属のうちスプレー缶割合8.02%(R5実績)

◆ 児島地区(東部) 必要収集車両台数及び必要人員

ごみ種	委託基準量	月間平均収集量	月間総トリップ数平均	1日可能トリップ数	月間平均稼働日数	必要台数(20日/月稼働)	最終必要台数	必要人員
	A	B=A÷1.2	C=(B÷②)×1000	D=6.5h÷①	E=C÷D	F=E÷20	G=0.5単位	H=G×⑤
燃やせるごみ	6,270	522.48	261.89	3.61	72.52	3.63	4.0	8.0
埋立ごみ	91	7.60	7.49	1.93	3.87	0.19	0.2	0.4
紙・布類	109	9.08	37.05	5.96	6.21	0.31	0.4	0.8
金属類	69	5.78	7.98	3.00	2.66	0.13	0.2	0.4
スプレー缶	6	0.50	1.05	1.46	0.72	0.04	0.1	0.2
びん類・蛍光灯	143	11.93	9.27	2.69	3.44	0.17	0.3	0.9
ペットボトル	30	2.51	5.02	2.17	2.32	0.12	0.2	0.4
	6,719			※6.5h/日実稼働時間(16時搬入終了)			5.4台	11.1人

◆ 児島地区(東部) 必要収集車両台数及び必要人員(調整)

経費	ごみ種	使用車種	必要台数	乗車人員/台	必要人員	備考
収集関係	燃やせるごみ	パッカー車	4.8台	2人/台	9.6人	
	埋立ごみ	パッカー車	0.4台	2人/台	0.8人	
	紙・布類	パッカー車	0.4台	2人/台	0.8人	
	金属類	パッカー車	0.4台	2人/台	0.8人	
	スプレー缶	リフト付ダンプ車	0.1台	2人/台	0.20人	
	びん類・蛍光灯	リフト付ダンプ車	0.5台	3人/台	1.50人	
	ペットボトル	パッカー車	0.3台	2人/台	0.6人	
	計		6.9台		14.30人	

+予備車両1.0台= 7.90台

◆ 児島地区 管理部門体制

職務	必要人員	備考
現場責任者	1人	
正社員(事務等)	1人	
臨時職員(事務)	1人	
計	3人	

人員集計表	搬送先	収集人員	事務所人員	合計
	水島清掃工場	14.30人	3.0人	17.30人

令和8～17年度 児島地区（東部） 家庭ごみ収集運搬業務委託数値算定表

収集区域：琴浦地区・児島地区

燃やせるごみ搬送先：倉敷西部クリーンセンター2ヶ月分×10年

◆児島地区 家庭ごみ排出量年度別推移表（ステーション収集）

単位：t

ごみ種	令和元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	8年度予測量
燃やせるごみ	12,965	12,650	12,603	12,278	11,695	11,399
		▲2.43%	▲0.38%	▲2.58%	▲4.74%	▲2.53%
埋立ごみ	239	237	242	221	178	166
		▲1.08%	2.35%	▲8.84%	▲19.50%	▲6.77%
紙・布類	148	183	190	189	186	198
		23.34%	3.79%	▲0.43%	▲1.50%	6.30%
金属類	139	163	156	141	135	137
		17.33%	▲4.84%	▲9.34%	▲4.33%	▲0.29%
スプレー缶	—	—	—	—	8	11
					R5年度実績9か月	
びん類・蛍光灯	316	313	297	279	270	260
		▲0.92%	▲5.13%	▲5.81%	▲3.20%	▲3.77%
ペットボトル	52	54	55	55	54	55
		4.09%	0.61%	0.72%	▲1.29%	1.03%
小計	895	950	939	885	824	816
合計	13,860	13,600	13,542	13,163	12,519	12,215

廃乾電池は埋立に含む

◆ 児島地区（東部） 委託基準量(年)

令和元年度から令和5年度排出量の平均減少率から令和8年度の排出予測量を算出する。

委託範囲：児島地区東部(55%) 収集区域55%

燃やせるごみ	11,399	t/年 ×	55% =	6,270	t/年 ≒	6,270	t/年
埋立ごみ	166	t/年 ×	55% =	91	t/年 ≒	91	t/年
紙・布類	198	t/年 ×	55% =	109	t/年 ≒	109	t/年
金属類	126	t/年 ×	55% =	69	t/年 ≒	69	t/年
スプレー缶	11	t/年 ×	55% =	6	t/年 ≒	6	t/年
びん類・蛍光灯	260	t/年 ×	55% =	143	t/年 ≒	143	t/年
ペットボトル	55	t/年 ×	55% =	30	t/年 ≒	30	t/年
						6,719	t/年

◆ 児島地区（東部） 委託基準量(年)

ごみ種	委託基準量 (委託地区 排出予測量)
燃やせるごみ	6,270
埋立ごみ	91
紙・布類	109
金属類	69
スプレー缶	6
びん類・蛍光灯	143
ペットボトル	30
計	6,719

◆ 児島地区 東部委託業務におけるごみ種別処理(搬送)先

- 燃やせるごみ 倉敷西部クリーンセンター
- 埋立ごみ 倉敷西部クリーンセンター
- 紙・布類 児島織協
- 金属類 児島織協、株水島金属
- びん類・蛍光灯、スプレー缶 資源選別所、田中商会
- ペットボトル 倉敷リサイクルセンター((協)倉敷環境システム)

◆ 児島地区 1トリップあたりの基礎数値

ごみ種	収集時間/h	積載量/kg	走行距離/Km	使用車種	乗車人員/台
	①	②	③	④	⑤
燃やせるごみ	2.09	1,986	47.39	パッカー	2
埋立ごみ	3.36	1,014	59.50	パッカー	2
紙・布類	1.09	245	18.96	パッカー	2
金属類	2.17	725	34.77	パッカー	2
スプレー缶	4.46	480	34.77	リフト付ダンプ車	2
びん類・蛍光灯	2.23	1,287	37.04	リフトトラック	3
ペットボトル	3.00	500	29.00	パッカー	2

スプレー缶含む

8.02%

金属のうちスプレー缶割合8.02%(R5実績)

◆ 児島地区（東部） 家庭ごみ収集運搬委託における必要車両台数・人員

ごみ種	委託基準量	月間平均収集量	月間総トリップ数平均	1日可能トリップ数	月間平均稼働日数	必要台数(20日/月稼働)	最終必要台数	必要人員
	A	B=A÷1.2	C=(B÷②)×1000	D=6.5h÷①	E=C÷D	F=E÷20	G=0.5単位	H=G×⑤
燃やせるごみ	6,270	522.48	263.08	3.11	84.59	4.23	5.0	10.0
埋立ごみ	91	7.60	7.49	1.93	3.87	0.19	0.2	0.4
紙・布類	109	9.08	37.05	5.96	6.21	0.31	0.4	0.8
金属類	69	5.78	7.98	3.00	2.66	0.13	0.2	0.4
スプレー缶	6	0.50	1.05	1.46	0.72	0.04	0.1	0.2
びん類・蛍光灯	143	11.93	9.27	2.69	3.44	0.17	0.2	0.6
ペットボトル	30	2.51	5.02	2.17	2.32	0.12	0.2	0.4
	6,719			※6.5h/日実稼働時間(16時搬入終了)			6.3台	12.8人

◆ 児島地区(東部) 必要収集車両台数及び必要人員(調整)

経費	ごみ種	使用車種	必要台数	乗車人員/台	必要人員	備考
収集関係	燃やせるごみ	パッカー車	5.8台	2人/台	11.6人	
	埋立ごみ	パッカー車	0.4台	2人/台	0.8人	
	紙・布類	リフト付ダンプ車	0.4台	2人/台	0.8人	
	金属類	パッカー車	0.4台	2人/台	0.8人	
	スプレー缶	リフト付ダンプ車	0.1台	2人/台	0.20人	
	びん類・蛍光灯	リフト付ダンプ車	0.5台	3人/台	1.5人	
	ペットボトル	パッカー車	0.3台	2人/台	0.6人	
	計		7.9台		16.3人	
			予備1.0台	8.90台		

◆ 児島地区 管理部門体制

職務	必要人員	備考
現場責任者	1人	
正社員(事務等)	1人	
臨時職員(事務)	1人	
計	3人	

集計表	搬送先	収集人員	事務所人員	合計
	倉敷西部クリーンセンター	16.3人	3.0人	19.3人

令和8～17年度 児島地区(東部) 家庭ごみ収集業務委託金額内訳表

消費税 10% 1.1

	収 集 業 務								事務所管理費			
	可 燃 ご み	埋立ごみ	資源ごみ (金 属 類)	資源ごみ ペットボトル	資源ごみ (びん)	資源ごみ (スプレー缶)	資源ごみ (紙・布)		現場責任者	1 名		
設計内容	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員2名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名		正社員	1 名		
	収集人員 2 名	収集人員 2 名	収集人員 2 名	収集人員 2 名	収集人員 3 名	収集人員 2 名	収集人員 2 名	計 (台)	臨時職員	1 名		
	搬送先:水島清掃工場 期 間:10カ月×10年	3tパッカー 4.8 台 9.6 名	3tパッカー 0.4 台 0.8 名	3tパッカー 0.4 台 0.8 名	3tパッカー 0.3 台 0.6 名	3tリフトダンプ 0.5 台 1.5 名	3tリフトダンプ 0.1 台 0.2 名	3tパッカー 0.4 台 0.8 名	計 (台)	計	3 名	
	搬送先:倉敷西部クリーンセンター 期 間:2カ月×10年	3tパッカー 5.8 台 11.6 名							計 (台)	搬送先:水島清掃工場 期 間:10カ月×10年	総計17 名	
									収集人員	搬送先:倉敷西部クリーンセンター 期 間:2カ月×10年	総計19 名	
	収 集 車 両 1 台 当 た り の 運 行 経 費								その他事務所管理経費等			
直 接 費	人 件 費	給料	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	人 件 費	報酬	
		諸手当	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()		()	給料
	賞 与 費	賞与	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()	賞金	
		法定福利費	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()	諸手当	
	小 計	小計	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()	賞与	
			車両台数5.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()	法定福利費	
	福 利 厚 生 費	被服費	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()	小 計	
			車両台数5.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()	福利厚生費	
	物 件 費	消耗品費	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()	福利厚生費	福利厚生費 収集人員14名 収集人員16名
		燃料費	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()	物 件 費	消耗品費
修繕料		車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()		光熱水費 (燃料費含む)	
小計		車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()		通信運搬費	
車 両 関 係 費	減価償却費	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()		建物等 維持管理費 (設備管理委託)	
	自動車保険料	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()		賃借料 (土地、建物等)	
費	自動車税	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()		小計	
	利息償還	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()		有形 固定 資産	
予 備 車 両 関 係 費	予備車両関係費		-	-	-	-	-	-	-		減価償却費	
	合計(1台当たり) 年間経費 (合計×台数)	車両台数4.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()		退職金共済費 収集人員14名 収集人員16名	
予 備 車 両 関 係 費	合計(1台当たり) 年間経費 (合計×台数)	車両台数5.8台 ()	()	()	()	()	()	()	()		理 事 務 所 車 庫 減価償却費	
	予備車両関係費		-	-	-	-	-	-	-		収集人員14名 収集人員16名	
年 間 総 経 費	年間総経費	車両台数4.8台/年									年間合計	
		車両台数5.8台/年									収集人員14名 収集人員16名	
委託期間(10年) 総経費	100カ月間 (車両台数4.8台) 20カ月間 (車両台数5.8台)										委託期 間(10 年) 総経費	
直接費合計											間接費合計	

委託金額(諸経費、利益 10%)	円	円	(10%)
委託金額(消費税込み)	円	円	消費税 円(消費税除く)

令和8～17年度 児島地区(東部) 家庭ごみ収集業務委託金額内訳表

算出記入例

消費税 10% 1.1

設計内容	収集業務							事務所管理費			
	可燃ごみ	埋立ごみ	資源ごみ (金属類)	資源ごみ (ペットボトル)	資源ごみ (びん)	資源ごみ (スプレー缶)	資源ごみ (紙・布)				
運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員2名	運転手1名、作業員1名	運転手1名、作業員1名		現場責任者 1名 正社員 1名 臨時職員 1名 計 3名			
収集人員 2名	収集人員 2名	収集人員 2名	収集人員 2名	収集人員 3名	収集人員 2名	収集人員 2名					
搬送先:水島清掃工場 期間:10カ月×10年	3tパッカー 4.8台 9.6名	3tパッカー 0.4台 0.8名	3tパッカー 0.4台 0.8名	3tパッカー 0.3台 0.6名	3tリフトダンプ 0.5台 1.5名	3tリフトダンプ 0.1台 0.2名	3tパッカー 0.4台 0.8名	計(台) 6.9 収集人員 14.3	搬送先:水島清掃工場 期間:10カ月×10年 総計17名		
搬送先:倉敷西部クリーンセンター 期間:2カ月×10年	3tパッカー 5.8台 11.6名							計(台) 7.9 収集人員 16.3	搬送先:倉敷西部クリーンセンター 期間:2カ月×10年 総計19名		
収集車両1台当たりの運行経費											
人件費	給料	①	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	合計①⑪⑫⑬⑭⑮⑯	報酬 給料 賞金 諸手当 賞与 法定福利費 小計 福利厚生費 収集人員14名 収集人員16名	
	諸手当	②									
	賞与	③									
	法定福利費	④									
	小計	①+②+③+④									
	被服費	イ									
	消耗品費	・									
	燃料費	・									
	修繕料	・									
	小計	ウ									
車両関係費	減価償却費										
	自動車保険料										
	自動車税										
	利息償還										
小計	エ										
予備車両関係費											
合計(1台当たり)年間経費(合計×台数)											
合計(1台当たり)年間経費(合計×台数)											
予備車両関係費											
年間総経費	I	III	IV	V	VI	VII	VIII				
委託期間(10年)総経費	I×100月/12月 II×20月/12月	III×10年	IV×10年	V×10年	VI×10年	VII×10年	VIII×10年			委託期間(10年)総経費 収集人員14名 収集人員16名	
直接費合計										年間合計 収集人員14名 収集人員16名	

直接費+間接費(設計金額)	A=Q+R	円					
委託金額(諸経費、利益 10%)	B=A×1.1	円	A×0.1	円	(10%)		
委託金額(消費税込み)	C=B×1.1	円	B×0.1	円	消費税	B	円(消費税除く)

令和8年度～17年度 児島地区(東部) 家庭ごみ収集運搬業務委託費用試算表車1台当たりの年間運行経費

燃やせるごみ、埋立ごみ、資源ごみ(缶、金属類、ペットボトル、古紙類・古布類)

消費税 10% 1.1

NO. 1

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)		
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎			
直 人 件	給料		収集人員 = 運転手+作業員 ・運転手(1名) [] 円 / 月 × 1名 × 12月 = [] 円 ・作業員(1名) [] 円 / 月 × 1名 × 12月 = [] 円			
	諸手当	1,476,000 円	(あ+い+う+え) 61,500 円 / 名 × 2名 × 12月 = 1,476,000 円 ・扶養手当(配偶者・子供1人) 配偶者 3,000 円 / 月 子供1人につき 11,500円/月 (3,000 円 / 月 + (11,500 円 / 月 ・ 人 × 1人)) = 14,500 円 / 月 あ ・通勤手当 8,000 円 / 月 い ・住居手当 2,000 円 / 月 う ・特勤手当 1,850 円 × 20日 / 月 = 37,000 円 / 月 え 合計 61,500 円			
	賞与		年間 4.60 ケ月 ・運転手(1名) [] 円 / 月 × 1 × 4.60 月 = [] 円 ・作業員(1名) [] 円 / 月 × 1 × 4.60 月 = [] 円			
	法定福利費		・健康保険料 [] 円 × 101.7 / 1000 × 1 / 2 = [] 円 ・厚生年金 [] 円 × 183 / 1000 × 1 / 2 = [] 円 ・雇用保険料 [] 円 × 6 / 1000 = [] 円 ・労災保険料 [] 円 × 13 / 1000 = [] 円 ・児童手当拠出金 [] 円 × 3.6 / 1000 = [] 円			
	人件費計					
費	福利厚生費		(か'から'た'までの合計額) [] 円 / 名 × 2名 × [] 円 ・作業服(夏・冬それぞれ年2回) 夏 [] 円 / 着 × 2着 = [] 円 か 冬 [] 円 / 着 × 2着 = [] 円 き ・防寒着(2年に1着) [] 円 / 着 × 0.5着 = [] 円 く ・雨合羽(2年に1着) [] 円 / 着 × 0.5着 = [] 円 け ・作業靴(年1足) [] 円 / 足 × 1足 = [] 円 こ ・ゴム手袋(年12双) [] 円 / 双 × 12双 = [] 円 さ ・長靴(2年1足) [] 円 / 足 × 0.5足 = [] 円 し ・作業帽子(年1回) [] 円 / 個 × 1個 = [] 円 す ・軍手(月1双) [] 円 / 双 × 12双 = [] 円 せ ・石鹸(年20個) [] 円 / 個 × 20個 = [] 円 そ ・タオル(年12枚) [] 円 / 枚 × 12枚 = [] 円 た			
	福利厚生費計					

(賃金センサスでの民間の廃棄物処理従業員の平均給与月額)
(諸手当:上記金額に含む)

倉敷市1世帯当たり平均2.38人(令和2年国勢調査)

あ一般職の職員の給与に関する法律第11条による。
 い(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=7,361円)
 う(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=1,627円)
 え国家公務員に塵芥作業に該当する特殊勤務手当がないため、
 倉敷市の特殊勤務手当を適用。

国家公務員一般職の給与に関する法律による。年間4.60ヶ月とする。(R6.8人事院勧告)

・健康保険料(40才未満を適用。) 101.7(R7.3~)介護非該当
 ・厚生年金 183.00(91.50) H30.4~固定

■法定福利費算出方法
 ○健康保険料・厚生年金・雇用保険料・労災保険料・児童拠出金
 給与+諸手当+賞与 × それぞれの率

単価=R5倉敷市(一般廃棄物対策課)購入単価。

支給個数等=倉敷市に準ずる。

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)							
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎								
直 物	消 耗 品	円	・タイヤ	円 / 本	×	1.1 ×	6 本	=	円	年に6本	
			・チューブ	円 / 本	×	1.1 ×	6 本	=	円		
			・フラップ	円 / 本	×	1.1 ×	6 本	=	円		
			・エンジンオイル	円 / 缶	×	1.1 ×	5 缶 × 4 回	=	円		
			・バッテリー	円 / 個	×	1.1 ×	1 回 × 1 / 2 年	=	円		
			・洗油	円 / 缶	×	1.1 ×	5 缶 × 2 回 / 年	=	円		
			・ポンプオイル(油圧)	円 / 缶	×	1.1 ×	2 缶 × 12 回 / 年	=	円		
			・不凍液	円 / 缶	×	1.1 ×	2 缶	=	円		
			・ギヤオイル	円 / 缶	×	1.1 ×	6 缶	=	円		
			・洗車ブラシ	円 / 個	×	2 本		=	円		3ヶ月に1回の交換 2年に1回の交換 オイル交換2回に1回の作業、1回に5缶。 月1回の給油、1回に2リットル 年1回継ぎ足し、1回に2リットル 年に6リットル
		・ウエス	円 / 束	×	2 束		=	円			
		・バケツ	円 / 個	×	1 個		=	円			
		・洗車石鹸	円 / 缶	×	1 缶		=	円			
		・ワックス	円 / 個	×	2 個		=	円			
		・竹ホーキ	円 / 本	×	2 本		=	円			
		・塵取ホーキ	円 / 本	×	2 本		=	円			
		・チトリ	円 / 個	×	2 個		=	円			
		・スコップ	円 / 本	×	1 本		=	円			
	接 費	燃 料 費	円	・軽油：燃料1リットルにつき4km走行するとして算定する。							
円			可燃ごみ(100カ月)搬送先:水島清掃工場	円 / 缶 ×	1.1 ×	112,478 km/年 ÷	4 km/缶 ÷	4.8 台	=	円	
円			可燃ごみ(20カ月)搬送先:倉敷西部クリーンセンター	円 / 缶 ×	1.1 ×	149,608 km/年 ÷	4 km/缶 ÷	5.8 台	=	円	
円			埋立ごみ	円 / 缶 ×	1.1 ×	5,349 km/年 ÷	4 km/缶 ÷	1 台	=	円	
円			資源ごみ	円 / 缶 ×	1.1 ×	3,329 km/年 ÷	4 km/缶 ÷	1 台	=	円	
円			ペットボトル	円 / 缶 ×	1.1 ×	1,747 km/年 ÷	4 km/缶 ÷	1 台	=	円	
円			古紙類・古布類	円 / 缶 ×	1.1	8,431 km/年 ÷	4 km/缶 ÷	1 台	=	円	
円			(は+ひ+ふ)の合計額	円							
円			・車検修理(年1回)	円 は							
円			・定期点検(6ヶ月点検)	円 ひ							
円	・一般修理	円 ふ									
費	物件費計	円	可燃ごみ(水島清掃工場)	円							
		円	埋立ごみ	円							
		円	資源(金属類)	円							
		円	ペットボトル	円							
		円	古紙類・古布類	円							
		円		円							

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)	
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎		
直 接 費	車 関 係	減 価 償 却 費	3tパッカー車(ダンプ式)	a 円(諸経費を除く車両本体価格)	
			標準使用年数 9.5年、償却率 年0.105	a 円 / 台 × 1.1 × 0.105 / 年 = b 円	
	両 関 係	自 動 車 保 険 料	強制保険料		円 / 年 = 円
			任意保険料	[対人(1億円)+対物(1千万円)+搭乗者(500万円)]	円 × 1年 = 円
			登録代行手数料	円 ÷ 9.5年 = 円	
車庫証明代行手数料			円 ÷ 9.5年 = 円		
費	自 動 車 税	自動車取得税	180,200 円 ÷ 9.5年 = 18,969 円		
		自動車重量税	100,800 円 ÷ 2年 = 50,400 円		
費	利 息 償 還	中小企業融資制度			
		3tパッカー車取得価格	円 / 台 × 1.1 × 借入金利率 年1.80%(変動金利) 償還期間 1年を超え8年以内(据置1年以内) 保証料 年1.0% (円 × 0.018 / 年) + (円 × 0.01 / 年) = 円		
車両関係費		②1 円			
費	予 備 車 経 費	予備車経費			
		消耗品費	6ページで算定 円 × 0.5 = 円		
		燃料費	6ページで算定 円 × 0.5 = 円		
		修繕料 (6ページは' 円 + 6ページひ' 円) + (6ページふ' 円 × 0.5)			
		上記、車両関係費計			
		合計		②1 円	
※ 別途加算する。					
直接費合計		可燃ごみ	円(水工)	円 (西部クリーンセンター)	
		埋立ごみ	円		
		資源(金属類)	円		
		ペットボトル	円		
		古紙類・古布類	円		
		※ 上記、予備車経費は含まず。			

燃やせるごみ、埋立ごみ、資源ごみ(缶、金属類、ペットボトル、古紙類・古布類)

NO. 3

標準使用年数9.5年=R5年度建設機械等損料表による。

任意保険料 [対人(1億円)+対物(1千万円)+搭乗者(500万円)]

※ 車両保険は計上しない。

企業安定資金融資(中小企業者):(R6.4現在)
限度額 2,000万円以内、融資利率 1.80%、保証料 1.52%以内

予備車経費1台分の内訳 ・運行(稼働)率を50%と想定し、積算する。
物件費 (1) 消耗品費 × 0.5、 (2) 燃料費(可燃ごみ) × 0.5
(3) 修繕料(車検修理、定期点検の積算金額) + (一般修理費 × 0.5)

車両関係費 上記、車両関係費(減価償却費、自動車保険料、自動車税、利息償還)の合計額とする。

令和8年度～17年度 児島地区(東部) 家庭ごみ収集運搬業務委託費用試算表 車1台当たりの年間運行経費

資源ごみ(びん類・蛍光管)

消費税 10% 1.1

NO. 1

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)		
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎			
直 人 件	給 料		収集人員 = 運転手+作業員 ・運転手(1名) 円 / 月 × 1名 × 12月 = 円 ・作業員(2名) 円 / 月 × 2名 × 12月 = 円 ※スプレー缶は作業員1名			
	諸 手 当	2,214,000 円	(あ+い+う+え) 61,500 円 / 名 × 3名 × 12月 = 2,214,000 円 ・扶養手当(配偶者・子供1人) 配偶者 3,000 円 / 月 子供1人につき 11,500円/月 (3,000 円 / 月 + (11,500 円 / 月 × 1人)) = 14,500 円 / 月 ・通勤手当 8,000 円 / 月 ・住居手当 2,000 円 / 月 ・特勤手当 1,850 円 × 20日 / 月 = 37,000 円 / 月 合計 61,500 円			
	賞 与		年間 4.60 ケ月 ・運転手(1名) 円 / 月 × 1名 × 4.60月 = 円 ・作業員(2名) 円 / 月 × 2名 × 4.60月 = 円			
	法 定 福 利 費		・健康保険料 円 × 101.7 / 1000 × 1 / 2 = 円 ・厚生年金 円 × 183 / 1000 × 1 / 2 = 円 ・雇用保険料 円 × 6 / 1000 = 円 ・労災保険料 円 × 13 / 1000 = 円 ・児童手当拠出金 円 × 3.6 / 1000 = 円			
	人件費計					
接 費	福 利 厚 生 費		(‘か’から‘た’までの合計額) 円 / 名 × 3名 年 = 円 ・作業服(夏・冬それぞれ年2回) 夏 円 / 着 × 2着 = 円 か 冬 円 / 着 × 2着 = 円 き ・防寒着(2年に1着) 円 / 着 × 0.5着 = 円 く ・雨合羽(2年に1着) 円 / 着 × 0.5着 = 円 け ・作業靴(年1足) 円 / 足 × 1足 = 円 こ ・ゴム手袋(年12双) 円 / 双 × 12双 = 円 さ ・長靴(2年1足) 円 / 足 × 0.5足 = 円 し ・作業帽子(年1回) 円 / 個 × 1個 = 円 す ・軍手(月1双) 円 / 双 × 12双 = 円 せ ・石鹸(年20個) 円 / 個 × 20個 = 円 そ ・タオル(年12枚) 円 / 枚 × 12枚 = 円 た			
	福利厚生費計					

(賃金センサスでの民間の廃棄物処理従業員の平均給与月額)
(諸手当:上記金額に含む)

倉敷市1世帯当たり平均2.38人(令和2年国勢調査)

あ一般職の職員の給与に関する法律第11条による。
 い(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=7,361円)
 う(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=1,627円)
 え国家公務員に塵芥作業に該当する特殊勤務手当がないため、
 倉敷市の特殊勤務手当を適用。

国家公務員一般職の給与に関する法律による。年間4.60ヶ月とする。(R6.8人事院勧告)

・健康保険料(40才未満を適用。) 101.7(R7.3~)介護非該当
 ・厚生年金 183.00(91.50) H30.4~固定

■法定福利費算出方法

○健康保険料・厚生年金・雇用保険料・労災保険料・児童拠出金
 給与+諸手当+賞与 × それぞれの率

単価=R5倉敷市(一般廃棄物対策課)購入単価。

支給個数等=倉敷市に準ずる。

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)							
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎								
			直	物							
直	消 耗	円	・タイヤ	円 / 本	×	1.1 ×	6 本	1 回 / 2年	=	円	2年に1回の交換 3ヶ月に1回の交換 2年に1回の交換 オイル交換2回に1回の作業、1回に5%。 月1回の給油、1回に2リットル 年1回継ぎ足し、1回に2リットル 年に6リットル
			・エンジンオイル	円 / ㍓	×	1.1 ×	5 ㍓ ×	4 回	=	円	
			・バッテリー	円 / 個	×	1.1 ×	1 回 ×	1 / 2 年	=	円	
			・洗油	円 / ㍓	×	1.1 ×	5 ㍓ ×	2 回 / 年	=	円	
			・ポンプオイル(油圧)	円 / ㍓	×	1.1 ×	2 ㍓ ×	12 回 / 年	=	円	
			・不凍液	円 / ㍓	×	1.1 ×	2 ㍓		=	円	
			・ギヤオイル	円 / ㍓	×	1.1 ×	6 ㍓		=	円	
	件 費	品 費		・洗車ブラシ	円 / 個	×	2 本		=	円	年に2本(税込) 年に2束(税込) 年に1個(税込)
				・ウエス	円 / 束	×	2 束		=	円	
				・バケツ	円 / 個	×	1 個		=	円	
				・洗車石鹸	円 / 缶	×	1 缶		=	円	
				・ワックス	円 / 個	×	2 個		=	円	
				・竹ホーキ	円 / 本	×	2 本		=	円	
				・塵取ホーキ	円 / 本	×	2 本		=	円	
			・チリトリ	円 / 個	×	2 個		=	円		
			・スコップ	円 / 本	×	1 本		=	円		
接			費 費	びん・蛍光管	・軽油:燃料1リットルにつき6.5km走行するとして算定する。						
	円	軽油									
		びん・蛍光管		円 / ㍓ ×	1.1 ×	4,119 km/年 ÷ 6.5 km/㍓ ÷ 1 台	=	円	3 t 低床トラック(リフト付) 平均燃費 6.5km/リットル(全センター)		
	円	スプレー缶		円 / ㍓ ×	1.1 ×	439 km/年 ÷ 6.5 km/㍓ ÷ 0.1 台	=	円			
費	修 繕 料	円	(ま+み+む)の合計額	円							
			・車検修理(年1回)	円 ま							
			・定期点検(6ヶ月点検)	円 み							
			・一般修理	円 む							
費	物件費計	円	びん・蛍光管								
		円	スプレー缶								

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)		
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎			
直	車	減価償却費	・3tリフト付トラック	$\frac{C}{d}$ 円 / 台	$\times 1.1 \times 0.095 / 年$	= d 円
接	係	費	・強制保険料			= 円 / 年
			・任意保険料	[対人(1億円)+対物(1千万円)+搭乗者(500万円)]		= 円
			・登録代行手数料		÷ 10.5 年	= 円
			・車庫証明代行手数料		÷ 10.5 年	= 円
			・納車手数料		÷ 10.5 年	= 円
接	係	費	・自動車取得税	172,000 円	÷ 10.5 年	= 16,381 円
			・自動車重量税	75,600 円	÷ 2 年	= 37,800 円
接	係	費	・自動車税			= 16,000 円
			・利息償還	中小企業融資制度	$\frac{3t低床トラック(リフト付)車 取得価格}{借入金額}$ 円 / 台	$\times 1.1 \times$
接	係	費	・利息償還	借入金利率 年1.80%(変動金利) 償還期間 1年を超え8年以内(据置1年以内) 保証料 年1.0%	$(\text{円} \times 0.018 / 年) + (\text{円} \times 0.01 / 年)$	= 円
			車両関係費			
費	予備車経費	予備車経費				= 円
		直接費合計	資源(びん・スプレー缶)			= 円

標準使用年数 10.5年=R5年度建設機械等損料表による。

任意保険 [対人(1億円)+対物(1千万円)+搭乗者(500万円)]

※ 車両保険は計上しない。

企業安定資金融資(中小企業者):(R6.4現在)
限度額 2,000万円以内、 融資利率 1.80%、 保証料 1.52%以内

令和8年度～17年度 児島地区(東部) 家庭ごみ収集運搬業務委託費用試算表

事務所経費分

消費税 10% 1.1

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)		
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎			
間 人 件 費	報酬	円	・現場責任者			円
	給料 (賞金含む)	賞金計	・事務員(正社員1名) 円 × 1名 × 12ヶ月 =			円
			・事務員(臨時職員1名) (円 + 3,600円) × 1名 × 12ヶ月 =			円
	諸 手 当	738,000円	(あ+い+う+え) 61,500円 / 名 × 1名 × 12ヶ月 =			738,000円
		・扶養手当(配偶者・子供1人)				
		配偶者		3,000円 / 月	子供1人につき 11,500円 / 月	
				3,000円 / 月	(11,500円 / 月 × 1人) =	
					14,500円 / 月 あ	
				・通勤手当 8,000円 / 月 い		
				・住居手当 2,000円 / 月 う		
			・特勤手当 1,850 × 20日 / 月 = 37,000円 / 月 え			
			合計 61,500円			
賞 与	円	・事務員(正社員1名) 円 / 月 × 1人 × 4.60ヶ月 =			円	
	円	・事務員(臨時職員1名) 円(6月) + 円(12月) =			円	
接 定 福 利 費	健康保険料	円	・健康保険料 (現場責任者) 円 × 117.6 / 1000 × 1 / 2 =			円
			・健康保険料 (正社員) 円 × 101.7 / 1000 × 1 / 2 =			円
			・健康保険料 (臨時職員) 円 × 101.7 / 1000 × 1 / 2 =			円
	厚生年金	円	・厚生年金 (現場責任者) 円 × 183 / 1000 × 1 / 2 =			円
			・厚生年金 (正社員) 円 × 183 / 1000 × 1 / 2 =			円
			・厚生年金 (臨時職員) 円 × 183 / 1000 × 1 / 2 =			円
	雇用保険料	円	・雇用保険料 (現場責任者) 円 × 6 / 1000 =			円
			・雇用保険料 (正社員) 円 × 6 / 1000 =			円
			・雇用保険料 (臨時職員) 円 × 6 / 1000 =			円
	労災保険料	円	・労災保険料 (現場責任者) 円 × 13 / 1000 =			円
			・労災保険料 (正社員) 円 × 13 / 1000 =			円
			・労災保険料 (臨時職員) 円 × 13 / 1000 =			円
児童手当拠出金	円	・児童手当拠出金 (現場責任者) 円 × 3.6 / 1000 =			円	
		・児童手当拠出金 (正社員) 円 × 3.6 / 1000 =			円	
		・児童手当拠出金 (臨時職員) 円 × 3.6 / 1000 =			円	
人件費計		円				

・事務員(正社員)
岡山県労務統計調査(R5年分)から平均月額給料

・事務員(臨時)
賞金は、市の会計年度職員の報酬(一般事務)を適用する。

倉敷市1世帯当たり平均2.38人(令和2年国勢調査)
あ一般職の職員の給与に関する法律第11条による。
い(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=7,361円)
う(令和5年度 水島環境センター職員平均支給額=1,627円)
え国家公務員に塵芥作業に該当する特殊勤務手当がないため、倉敷市の特殊勤務手当を適用。

国家公務員一般職の給与に関する法律による。年間4.60ヶ月とする。(R6.8人事院勧告)
0

・事務員(臨時社員)の賞与は、市の臨時職員の一時金を適用する。

健康保険料(現場責任者 40才以上を適用)117.6 R7.3~改正
(正社員 40才未満を適用)101.7 R7.3~ 介護非該当

・厚生年金 183.00(91.50) H30.4~固定

■法定福利費算出方法
○健康保険料・厚生年金・雇用保険料・労災保険料・児童拠出金
給与+諸手当+賞与 × それぞれの率

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)			
目	節	1ヶ年原価	積 算 基 礎				
福利厚生費	福利厚生費	収集人員14名	レクリエーション費等(臨時職員除く)				
		50,530 円	・現場責任者、正社員	3,100 円 / 名	×	2 名	= 6,200 円
			・収集人員(運転手、作業員)	3,100 円 / 名	×	14.3 名	= 44,330 円
		収集人員16名	・現場責任者、正社員	3,100 円 / 名	×	2 名	= 6,200 円
	56,730 円	・収集人員(運転手、作業員)	3,100 円 / 名	×	16.3 名	= 50,530 円	
福利厚生費計		50,530 円	56,730 円				
間	消耗品費	■ 円	帳簿用紙、その他事務用品 ■ 円 / 年 = ■ 円				
	光熱水費	■ 円	光熱水費				
			・電気料	■ 円			
		・水道料	■ 円				
		・プロガス	■ 円				
		・灯油代	■ 円				
		合計	■ 円	事務所面積1㎡あたり	■ 円		
			■ 円 ×	■ ㎡		■ 円	
接	通信運搬	■ 円	・電話料金 ■ 円 × 1 本 = ■ 円				
	委託費	■ 円	・消防設備点検	@ ■ 円 × 4 本 × 1.1 =	■ 円		
			・浄化槽維持管理費	(■ 円 × 12 ヶ月) + (■ 円 (年1回清掃費))	=	■ 円	
・建物警備			(■ 円 × 12 ヶ月)	=	■ 円		
・建物清掃			52 週 × × 8 H × @ ■ 円	=	■ 円		
					週1回清掃		
費	賃借料(公課費)	■ 円	・土地	面積 e ㎡	固定資産税(都市計画税含む。) f 円	1㎡あたりの税額 g=f/e 円	
			事務所に必要な土地(積算根拠)	17.3 人 × 5 ㎡/人 = 86.5 ㎡			
			車庫に必要な土地(積算根拠)	7.90 台 × 30 ㎡/台 = 237 ㎡			
			事務所土地代	86.5 ㎡ × g 円	=	■ 円	
			車庫土地代	237 ㎡ × g 円	=	■ 円	
	(土地)(建物)(建物)			・建物	面積 h ㎡	固定資産税(都市計画税含む。) i 円	1㎡あたりの税額 j=i/h 円
事務所に必要な建物(積算根拠)				17.3 人 × 5 ㎡/人 = 86.5 ㎡			
			事務所建物代	86.5 ㎡ × j 円	=	■ 円	
建物(車庫)			・建物(車庫)	面積 k ㎡	固定資産税(都市計画税含む。) l 円	1㎡あたりの税額 m=l/k 円	
			車庫に必要な建物(積算根拠)	8 台 × 30 ㎡/台 = 237 ㎡			
			車庫建物代	237 ㎡ × m 円	=	■ 円	
物件費計		■ 円					

令和6年度 試算

(令和8年度 委託分)

事務所経費分

		令和6年度 試算		(令和8年度 委託分)		
間 接 費	有形 固定 資産 費	減価 償却 費	・償却方法 定額法			
			品 目	年 数	率	単価(税込)
			机 (事務用)	15年	0.066	円
			椅子 (事務用)	15年	0.066	円
			セールスマンデスク (作業員)	15年	0.066	円
			椅子 (作業員)	15年	0.066	円
			更衣ロッカー (作業員)	15年	0.066	円
			更衣ロッカー (事務員)	15年	0.066	円
			事務用ロッカー(小)3×3 引違引出なし	15年	0.066	円
			事務機	()円/脚	×	4脚 × 0.066
事務椅子	()円/脚	×	4脚 × 0.066	= 円		
セールスマンデスク	()円/脚	×	8脚 × 0.066	= 円		
作業員椅子	()円/脚	×	16脚 × 0.066	= 円		
更衣ロッカー作業員	()円/脚	×	16脚 × 0.066	= 円		
更衣ロッカー事務員	()円/脚	×	3脚 × 0.066	= 円		
事務用ロッカー	()円/脚	×	2脚 × 0.066	= 円		
有形固定資産費計		円				
間 接 費	管 理 費	退職 金 共 済 費	中小企業退職金共済制度			
			※ 臨時職員1名は除く。			
			収集人員14名	・収集人員(運転手、作業員)	12,000円 × 14人 × 12ヶ月	= 2,059,200円
			2,347,200円	・現場責任者、正社員	12,000円 × 2人 × 12ヶ月	= 288,000円
			収集人員16名	・収集人員(運転手、作業員)	12,000円 × 16人 × 12ヶ月	= 2,347,200円
			2,635,200円	・現場責任者、正社員	12,000円 × 2人 × 12ヶ月	= 288,000円
			238,221円	・事務所 (定額法、償却年数30年) (1÷30)= 0.034		
				86.5㎡ × 90,000円 = 7,785,000円		
				(7,785,000円 - 778,500円) × 0.034	= 238,221円	
			665,496円	・車庫 (定額法、償却年数20年) (1÷19)= 0.052		
	237.0㎡ × 60,000円 = 14,220,000円					
	(14,220,000円 - 1,422,000円) × 0.052	= 665,496円				
合計						
903,717円						
管理費計	円(水工)	円(西部クリーンセンター)				
間接費合計	円(水工)	円(西部クリーンセンター)				

中小企業退職金共済制度に基づき、賃金を基準に掛け金を設定。

・人員 (収集+事務) 17.3人
 ・事務所面積 1人当たりの占有面積5㎡に設定
 ・事務所建築費 ㎡単価=全国市有物件災害共済会等を参考に90,000円とする。
 (耐用年数:事務所用(鉄骨造4mm以下)30年とする。)

・車両 7.90台
 ・車庫面積 1台当たりの占有面積30㎡に設定
 ・車庫建築費 ㎡単価=全国市有物件災害共済会等を参考に60,000円とする。
 (耐用年数:車庫用(鉄骨造3mm以下)19年とする。)